

みんなdeスポーツ! わが町の取り組み

① はじめに

ブラジル・リオデジャネイロでのオリンピック・パラリンピック（以下、オリ・パラ）が9月18日に無事閉幕し、いよいよ2020年の東京大会に向けたカウントダウンが始まった。

リオのオリ・パラ開催に先立ち、文科省は6月、2020年に障害の有無に関わらず、全ての人が楽しめるスポーツや文化、芸術活動の祭典を全国の特別支援学校を拠点として開催することを旨とする「Specialプロジェクト2020」を創設。9月21日には、ボッチャのリオ銀メダリストと今年8月に初めて開かれた「全国特別支援学校ボッチャ大会（ボッチャ甲子園）」の出場生徒らを招い



世代や性別を問わず、誰もが一緒に楽しめるのが障害者スポーツ最大の魅力

パラリンピックを共生社会への起爆剤に

でのプレイベントを省庁隣接広場で開催した。（1面参照）

また、全国特別支援学校長会も、6月の総会で運動やスポーツへの多様な参画や豊かな心の育成、スポーツを通じた交流活動の促進などを目指す提言を全特長ビジョンの11番目に盛り込むことを決定し、専門委員会「みんなdeスポーツ推進委員会」を立ち上げた。同委員会では、全国の特別支援学校におけるスポーツ・運動に関する実態調査の実施や、各地域・学校の取り組み状況についての情報収集・広報、関係団体とのネットワークの構築を進め、産官学一体となって障害者スポーツの活性化を図っていく考えだ。

世界中から多くの人が集まるオリ・パラ開催は、開催地の東京にとどまらず日本のさまざまな地域、分野にも注目が集まる。各地の優れた事例・実践を共有、活性化させ、みんなで楽しくスポーツができる共生社会の姿を日本から世界に発信する契機としたい。

◇ 全国各地の障害者スポーツを取り巻く状況、先進的な取り組みなどについて紹介していきます。